

産業・観光の振興

産業が元気で活気あふれるまちをつくりま

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 地域職業相談室管理運営事業…………… 577万円
- 新規卒業者雇用奨励補助事業…………… 1,000万円
- 重点政策啓発推進事業…………… 100万円
- デジタルティバド解消事業…………… 1,157万円
- 地上デジタルテレビ放送難視聴対策補助事業…………… 2,895万円
- 企業誘致事業…………… 326万円
- 滝沢村IPUIノベーションセンター管理運営事業…………… 762万円
- 岩手県立大学周辺産業集積整備事業…………… 8,049万円
- 産学官共同研究事業…………… 1,000万円
- 若者定住促進戦略調査検討事業…………… 100万円
- 滝沢ブランド推進事業…………… 316万円
- 馬事文化映像記録保存事業…………… 405万円
- いわて希望農業担い手応援補助事業…………… 317万円
- 担い手育成経営基盤強化支援事業…………… 195万円
- 地産地消推進事業…………… 51万円
- 花きブランド定着・販路拡大推進事業…………… 339万円
- 食育推進戦略調査検討事業…………… 100万円
- 畜産担い手育成総合整備事業…………… 2億267万円
- 国営造成施設管理体制整備促進事業…………… 278万円
- 森林整備加速化・林業再生基金事業…………… 502万円

馬っこイベントで村・地域の活性化を

工藤 和子さん (野沢)



私には願う事が二つあります。一つは、県立大の学生さんが言うには、地域とのかかわりでニーズがあるのにどう活動をして良いか分からないと話していました。是非、学生さんと連携して高齢者との交流の場づくりなどをお願いしたいです。もう一つは、産業文化センターアピオや馬っこパークで、馬っこをテーマにしたイベントを企画し大々的にアピールする事で、村・地域の活性化につながると思います。また、相乗効果によりIGRいわて銀河鉄道を利用し、多くの人が滝沢に足を運んでもらいたいですね。

- 問** 馬事文化映像記録保存事業の内容は、馬事に関する文化は伝承だけでは伝えきれない技術や村内ピーアールも兼ねたものを映像媒体に記録保存する業務委託事業です。
- 問** 花きブランド定着・販路拡大推進事業の内容は、滝沢の花をブランド化しようと農家の方々に集まっていたいただき、研修会を開催する際の花き専門業者さんへの指導委託金です。
- 問** 地産地消推進事業が昨年より金額がふえているが事業の内容は、食育推進の集いの輪をひろげるために有名な方の講師代と、郷土食コンクールの審査員の謝礼と、野菜についての知識を持ったベジタブルマイスターによる講習会開催のための経費です。
- 問** 食育推進戦略調査検討事業の内容は、食育推進計画の新たな戦略を立てるための先進地調査、専門家の意見聴取の経費です。
- 問** 森林整備加速化・林業再生基金事業の内容は、村有林の間伐にヘクターあたり、定額25万円、民有林の間伐については人件費のみが対象の事業です。

教育・生涯学習の推進

みんなで学びあい、未来と地域を担う人が育つまちをつくりま

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 学力向上・指導力向上事業…………… 414万円
- 総合的な学習の時間推進事業…………… 78万円
- 不登校児童生徒解消対策事業…………… 408万円
- 特別支援教育支援員設置事業…………… 2,082万円
- キャリア教育サポート事業…………… 536万円
- 認定子ども園整備補助事業…………… 2億893万円
- 国際理解教育講座開設事業…………… 30万円
- 生涯学習推進事業…………… 21万円
- 家庭教育講座開設事業…………… 46万円
- 放課後子ども教室推進補助事業…………… 82万円
- 学校安全体制整備推進事業…………… 38万円
- 埋蔵文化財センター収蔵文化財整理事業…………… 918万円
- 伝統文化支援事業…………… 60万円
- 芸術文化ふれあい事業…………… 117万円
- 学校医等設置事務…………… 886万円
- 競技スポーツ推進事業…………… 3,716万円
- 生涯スポーツ推進事業…………… 67万円
- スポーツ振興健康づくり推進事業…………… 16万円
- 学校給食施設改善事業…………… 3,766万円
- 学校給食事業…………… 3億3,997万円



いつでもどこでも納入できる仕組みづくりを

昆野 善孝さん (篠木)

PTA 理事会の中で給食費未納について話題となり、滝沢村のホームページで公開されている、「学校給食センター運営委員会」の資料や議事録を見て驚きました。21年度だけで給食費の未納額が1,000万円を超えているのです。口座振替に徐々に切り替わってはいますが、いつでも、どこでも、給食費等を納められるよう、コンビニ収納の早期実現をお願いします。

- 問** 学力向上指導員配置事業の内容は、個別指導を要する児童生徒が多い学校で、希望する学校に優先的に配置するものです。
- 問** 村内の中学校で、5教科の教員で非常勤がいる学校があるのか。小規模な中学校の場合、教員定数が少なく、5教科すべてについて免許を持つている教員を確保することが難しくなっています。免許を持つている非常勤の講師が学校を掛け持ちしながら対応しているという状況で、教育事務所等と協議をしながら、できる限り配置していきたいと考えています。
- 問** 放課後子ども教室推進補助事業が「たきざわこ子いきいきクラブ」と「チャグホ塾」の2カ所だけで十分か。小学校区単位の配置が理想ですが、指導者が少なく運営が難しい現状もあり、現在のところ法人の団体が行っているこの2カ所という現状です。

一般会計

反対論

武田 猛見 議員

住民の暮らしを見たならば、暮していくことの困難な実態はさまざまなおところにあらわれております。総合計画の後期基本計画に沿った重点事業を中心に予算を組んだと述べておりますが、今すべきことは住民が望んでいる事業に最大の光を当てるべきであり、その視点が余りにも少ない。よく言われます所得の再配分という住民の暮らしに直結した予算配分が余りなされておられません。これまでの事業に対して拡充あるいは充実を図ったものがほとんどありません。よって一般会計予算に反対します。

賛成論

鎌田 忍 議員

本年度予算は新政権のコンクリートから人へ、地域主権による子ども手当及び地方交付税1・1兆円増が大きい。が、村税が5%、2億4千万円の減額が見込まれ、経済状況が悪化している中、前年対比11.5%の150億円に上る積極予算になっております。重点政策を滝沢らしさの確立、若者定住、食育推進として、それぞれ戦略調査に取り組むことは着眼点も好ましく、特に滝沢ブランドの創出などは大いに期待できます。よって一般会計予算に賛成します。

国保特別会計

反対論

桜井 博義 議員

医療費については1人当たりで見ると毎年増加に転じ、保険税においても単年度ごとの波はあるものの、増加の1途を示しております。こういった中、一向に収納状況が向上しておりません。加入世帯の経済負担が軽くならないことから、減免制度をより実効性のあるものにするとか、低所得者層を中心に引き下げをするとか、何らかの手だてが必要であります。一般財源からの繰り入れを増額する、国庫負担をもとに戻すよう国に強く求めることなどしなければ根本解決につながらないことから、反対します。